

会場： ニュースパーク(日本新聞博物館)
2階企画展示室
〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11
横浜情報文化センター TEL 045-661-2040

開館時間： 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日： 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
入館料： 一般400円／大学生300円／
高校生200円／中学生以下 無料

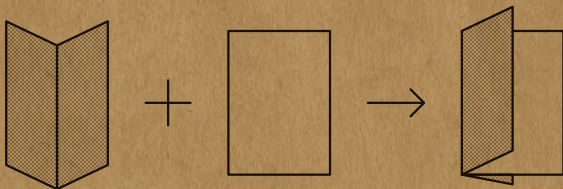
日本新聞博物館

地域の編集

ローカルメディアの
コミュニケーションデザイン



このチラシの使い方：




このチラシを
展示会場へ持っていく

会場にある「ハンドアウト」を挟んで、
簡易カタログにしてお持ち帰りができます。

2019. 10. 5 sat — 12. 22 sun

@ニュースパーク(日本新聞博物館)

<https://chiiki-henshu.com/>

 ニュースパーク
日本新聞博物館

このデジタル時代に、各地で洗練された紙メディア（ローカルメディア）をつくり、人と地域のつながりを生み出している人たちが増えています。新聞社の活動にも、まちづくりに乗り出したり、地域の住民とともに防災プロジェクトに取り組んだり、新しい展開がみられます。この秋、そんなローカルメディアや各地の新聞を、横浜にあるニュースパーク（日本新聞博物館）で一挙公開します。

手に取って、座って、じっくり読める。

各地で企業や自治体、個人が発行するローカルメディアの魅力は、洗練されたデザインだけではなく、地域の人と人をつないだり、観光客や移住者など、外から人を呼び込む様々な“工夫”がたくさん仕掛けられています。

例えば、「流通」の仕方を工夫する。あるいは、会員制（サブスクリプション）を導入してマネタイズする。または、読者からの投書・投稿をコンテンツの軸にしてしまう。そんな、これまでのメディアのあり方から飛び出したような様々な工夫が施されているのが、ローカルメディアの面白さです。

一方で、新聞も、地域の課題解決に加わったり、投稿を通じて読者とつながったり、新しい取り組みが生まれています。戸別配達を通じてまちを守るなど、新聞販売所の活動も進んでいます。

本展では、そんなローカルメディアが織りなす、読者との新しい“コミュニケーションの仕掛け”にフォーカスを当て、テーマごと7つのエリアと横浜になんだ特設エリアを設けます。全国でユニークな取り組みをしている新聞も紹介します。

会場では、実際にローカルメディアを手にとって、ゆっくり読んでいただくことができます。

7つのエリア

1 新しい視点の流通

そこに行かないと買えない本を作る。「本と温泉」をはじめとした、これまでにない流通の仕組みでまちの魅力を引き出しているローカルメディアを紹介します。

2 サブスクリプション（会員制）

「会員制」により、生産者と消費者のコミュニティが組織され、一次産業の振興に役立った「食べる通信」。発想を転換し、持続可能なサイクルを生み出しているローカルメディアを紹介します。

3 双方向

書く人と読む人がつながり、さらに書く人を介して読む人同士がつながる。双方向の機能を生かしたローカルメディアや話題になった新聞の投書・投稿事例などを紹介します。

4 まちづくり

自らまちづくり会社を立ち上げた福井新聞をはじめ、ローカルメディアや新聞社が当事者としてまちおこし、まちづくりに関わった事例を紹介します。

5 地域の課題解決

防災、超高齢社会、多文化共生…地域が抱える様々な課題を掘り下げて取材し、課題解決の方法を模索する。そんなローカルメディアや新聞の地道な取り組みを紹介します。

6 アーカイブ性を生かす

日々の取材が地域の記録につながる。「谷根干」をはじめとするローカルメディアや新聞は、長年、丹念に地域の情報を伝えてきました。メディアの「アーカイブ性」を紹介します。

7 デザイン

デザインに工夫を凝らした、様々なローカルメディアを紹介します。

その他、横浜ならではのローカルメディアも特設エリアで紹介します。

EVENT（会場は全て日本新聞博物館2階イベントルーム）

1. オープニングトークイベント

●「全国各地に広がるローカルメディア」

日時 | 2019年10月5日（土）14:00～16:00

出演 | 影山裕樹氏（編集者／千十一編集室）、幅允孝氏（BACH、ブックディレクター）、
田中佑典氏（LIP/生活藝人）、尾原史和氏（ブートレグ）

定員150人（先着順、予約不要）

2. 関連イベント

●全国まわしよみ新聞サミット@ニュースパーク

日時 | 11月2日（土）13:00～17:00

出演 | 陸奥賢氏（まわしよみ新聞発案者）、山口覚氏（津屋崎ランチ代表）

定員70人（予約制）

3. クロージングイベント

日時 | 12月22日（日）14:00～18:00

定員150人（先着順、予約不要）

※詳細は後日、下記の特設サイトか新聞博物館のサイトでお知らせします。

詳しくは→ <https://chiiki-henshu.com/>

※イベントはいずれも参加費無料（博物館入館料が必要。会期中2回目以降のイベント来館は100円引き）

「YOKOHAMA MEME by ニュースパーク」
ワークショップ参加者募集中！ 10/25まで

